

ぶどう特報



No.6 H27. 6. 19
JA中野市営農センター
JA中野市ぶどう部会

- ◆べと病・晩腐病・灰色かび病の重要防除時期となっています。引き続き定期散布に努めて下さい。
- ◆降雨が予想される時は、降雨の前に薬剤散布するようにしましょう。（予防散布が重要です）

【第7回 ぶどう農薬散布（有核巨峰通常散布・種なしぶどう袋かけ後特別散布）】

散布時期	落花20日頃（7/5～10頃） 前回から10日後			
散布薬剤	水	100ℓ	散布日	月 日
	ホライズンドライフフロアブル	40g	散布量	ℓ
散布量	散布ムラ、死角のないよう、たっぷり 400ℓ以上			
適用病害虫	べと病・晩腐病・褐斑病・黒とう病			
注 意 点	① クピアカスカシバ等の主幹害虫発生園は、サムコルフロアブル 10 5,000 倍（収穫前日まで、3回）を主幹、主枝へもたっぷり散布する。また、食害部にいる幼虫は捕殺に努める。 ② 散布の際は、果粉溶脱に注意し散布する。 ③ 果実への病害発生を防ぐため、摘粒を早急に実施し袋かけ・傘かけを早めに行う。 ④ 農薬散布の際は、隣接する園に注意し農薬飛散（ドリフト）のないよう十分注意してください。			

ぶどう特別散布《有核巨峰袋かけ・傘かけが遅れる場合、又はべと病・晩腐病の発生が心配な園》

散布時期	7月15日～7月20日頃 前回から10日後			
散布薬剤	水	100ℓ	散布日	月 日
	アミスター10フロアブル	100ml	散布量	ℓ
	ライメイフロアブル	25ml		
散布量	散布ムラ、死角のないよう、たっぷり 400ℓ以上			
適用病害虫	べと病・晩腐病・灰色かび病・褐斑病・枝膨病・黒とう病			
注 意 点	① アミスター10フロアブルはリンゴの一部品種に薬害が発生するので注意する。			
	② 散布の際は、果粉溶脱に注意し散布する。			
	③ 袋かけ・傘かけを早急に実施する。			
	④ 農薬散布の際は、隣接する園に注意し農薬飛散（ドリフト）のないよう十分注意してください。			

【摘粒・着果基準】（目標）

品種	目標房重	目標段数	目標粒数	着果基準	長梢（10m ² ）	短梢（2m）
有核巨峰	350～400g	10～12段	25～30粒	1680kg/10a	40～50房	—
種なし巨峰	350～400g	15～16段	30～33粒		40～45房	18房
ピオーネ	350～400g	10～12段	25～28粒		40房	16房
カハール	350～400g	10～12段	25～30粒	1680kg/10a	40房	15房
シャインマスカット	350g	12～13段	25～30粒	1800kg/10a	45～50房	25房
	500g～600g	14～15段	35～40粒		30～35房	16房

【袋かけ遅れの防除】

・上記の防除を実施した後に袋かけ作業が間に合わず、べと病等が心配な方につきましては、特別散布を実施して下さい。
尚、散布農薬については、担当技術員までご相談下さい。

【カメムシ対策】

摘粒作業中に見かけることがあります。発生の多い場合はアルバリン顆粒水溶剤 2,000 倍（収穫前日まで、3 回以内）の特別散布を実施して下さい。 ※アルバリン散布の際は果面の汚れに注意し散布して下さい。

定期的な薬剤散布を実施し病害虫予防に努めましょう。

安全安心な農産物の生産に努め、栽培日誌も忘れず記入しましょう。

※前回の特報でアドマイヤー顆粒水和剤の単位が10mlでしたが、正確には10gです。
お詫び申し上げますとともに、薬剤調合時はお間違えないようお願い申し上げます。